専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	分野別基礎実技Ⅰ		**授業形態 / 必選**	実習	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	**年間授業数**	35回（70単位時間）	**年間単位数**	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科/音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ アーティストスタッフ/PA/照明/照明＆PA/イベント制作/ローディー/レコーディング＆MA/PA＆レコーディング				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	実務経験：17年 ライブハウスのPAを務めつつ、ブライダル現場・式典PA・レディオクレイジーのステージ・FREEDOM名古屋のモニターPAなど様々なイベントを担当。また、レコーディングスタジオでの業務をこなす。 ここ数年は現地楽器・舞台監督も担当し、マルチに活動している。				

授業概要

・ライブやレコーディングで使用される各楽器のことについて理解を深める。
・前期はポピュラーミュージックでよく使われる、ドラム・ベース・ギターについての知識を習得する。

到達目標

・楽器の扱い方やセッティング方法を学ぶ
・簡易なPAセットの仕込み・機材の操作方法を習得する
・ライブハウスやPA現場でのステージアシスタントができるようになる

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	ドラムについて、各パーツの名称や役割/構造を理解し、チューニング方法を学ぶ
【前期】 5～8回目	ギターやベースの構造を知り、各パーツの役割や弦の張り方などの理解
【前期】 9～12回目	ベースアンプの各部の使い方や接続方法の理解
【前期】 13～15回目	ギターアンプの種類や特徴、使い方の理解 サマーセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【前期】 16～17回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 18～21回目	エレキギターのエフェクターとアコースティックギターのマイキングについて
【後期】 22～25回目	アコースティックピアノのマイキングと、キーボード/シンセサイザーなどの鍵盤楽器の種類や使い方
【後期】 26～29回目	パーカッション/金管楽器/木管楽器のマイキングや仕組みについて ウインターセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【後期】 30～32回目	ヴァイオリンやその他ストリングス楽器など、オーケストラについて
【後期】 33～35回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	学期末に実施する試験により「平常点 /基礎課題 /実技 /資料作成 」の到達度を評価する。 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格）
学生へのメッセージ	音楽関連の仕事に就くと、日常的に楽器の話が出てきます。また、楽器に触れる機会も非常に多くなります。 そのため、楽器に関する基礎的な知識を身につけておくことは、とても大切になってきます。 基礎的な楽器の知識を身につけ、仕事や自身の活動に反映できるようにしてください。
使用教科書	テキストを最初の授業でまとめて配布

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	分野別応用実技Ⅰ		**授業形態 / 必選**	実習	選択(必)
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	**年間授業数**	70回（140単位時間）	**年間単位数**	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科■ アーティストスタッフ/PA/照明/照明＆PA/イベント制作/ローディー/レコーディング＆MA/PA＆レコーディング				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	実務経験：17年 ライブハウスのPAを務めつつ、ブライダル現場・式典PA・レディオクレイジーのステージ・FREEDOM名古屋のモニター PAなど様々なイベントを担当。また、レコーディングスタジオでの業務をこなす。 ここ数年は現地楽器・舞台監督も担当し、マルチに活動している。				

授業概要

分野別基礎実技Ⅰの実習版授業。
テキストで学んだ名称などを、実際の機材を触れながら理解し、扱い方などを学んでいく。

到達目標

・楽器の扱い方やセッティング方法を学ぶ
・簡易なPAセットの仕込み・機材の操作方法を習得する
・ライブハウスやPA現場でのステージアシスタントができるようになる

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	ドラムのセッティングとPAシステムの回線の流れ（ルーティング，Input～Outputまで）の理解と機材の説明
【前期】 9～16回目	PAアナログコンソールの理解/簡易PAシステムをセッティングしてイベントシュミレーションの実施
【前期】 17～24回目	Ba.Ampのセッティング・様々な接続方法
【前期】 25～30回目	テスターの使い方 ／ 交流&直流電源の測り方 ／ アースの処理方法 サマーセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【前期】 31～34回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 35～42回目	Gt.Ampのセッティングとギターエフェクターの試聴 ／ ギターにSPXを接続してマルチエフェクターの試聴・操作
【後期】 43～50回目	バンドセットのPA仕込みやKey2段弾き語りのPA仕込みの習得
【後期】 51～58回目	シンセサイザーの説明・実演・セッティング（Analog Synth，Digital Synth，Drum Machine，Sequencer，MIDI etc.） ウインターセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【後期】 59～64回目	ステージ転換の練習とパーカッション/DJのセッティングの習得
【後期】 65～70回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	学期末に実施する試験により「平常点 /基礎課題 /実技 /資料作成 」の到達度を評価する。 ·90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格）
学生へのメッセージ	リハーサルスタジオでの授業ですので、和気あいあいと勉強出来ればと思います。先生との距離も近いので、わからないことは直ぐに聞ける環境です。わからないことは持ち越さずにその場で解決するようにして下さい。 また、ホワイトボードの内容をメモする場合もありますので、メモ帳やノートは用意しておいて下さい。
使用教科書	特に無し。分野別基礎実技Ⅰのテキストを参照する場合も有り。

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	分野別応用演習Ⅰ		**授業形態 / 必選**	演習	選択(必)
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	**年間授業数**	70回（140単位時間）	**年間単位数**	8単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科/音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ PA / 照明 / ローディー / イベント制作				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	実務経験：27年 18歳から15年間京都「WHOOPEE"S」にて企画制作を担当。並行し、「京都大作戦」"牛若ノ舞台"ブッキング会議から 参加し、当日も舞台監督を担当。様々な夏フェスなどを企画しつつ京都のライブハウスをオープン。				

授業概要

・実習ホール（GARDEN,FREE）と2つのホールを使用し、クラスを分けて合同実習を行う
・ホールでの機材運搬やイベント実戦経験を積む

到達目標

・合同での授業で他セクションとのコミュニケーション力を養う
・授業内でのイベント対応で経験値を積む

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	PA/照明/ローディの基礎作業をチームごとにローテーションして反復し覚える
【前期】 9～16回目	ヴォーカルコンテスト本番対応に向けたシュミレーションの実施
【前期】 17～24回目	ヴォーカルコンテストの反省と次回に向けたフィードバック
【前期】 25～30回目	2tトラックの積み込み練習/バンドセットの仕込みを学ぶ サマーセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【前期】 31～34回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 35～42回目	ヴォーカルコンテスト本番対応に向けたシュミレーションの実施/反省と次回に向けたフィードバック
【後期】 43～50回目	ブライダル実習対応/バンドセットの復習
【後期】 51～58回目	外部ホール見学と、ホールごとの広さの違いや運営方法の差を学ぶ ウインターセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【後期】 59～64回目	ライブハウスで行うイベント実習に向けたシュミレーションの実施
【後期】 65～70回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	学期末に実施する試験により「平常点 /基礎課題 /実技 /資料作成 」の到達度を評価する。 ·90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格）
学生へのメッセージ	イベント対応、スタッフとしての心構えなどこれから必要な基礎をこの授業で行っていきます。 他コースとコミュニケーションを図りながらイベント対応など実践を積んでいきます。 一緒にがんばって行きましょう。
使用教科書	必要に応じてプリント配布

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	ProTools実習Ⅰ		授業形態 / 必選	実習	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	35回（70単位時間）	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科/音楽アーティスト科Ⅱ部/音楽芸能スタッフ科/音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ ミュージシャン＆スタッフ/アーティスト＆クリエイター/サウンドクリエイター/DJクラブミュージック/PA/MA&レコーディング/レコーディング&PA				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・1989年自身のバンド「テラローザ」でキングレコードよりデビュー。6枚のアルバムを発表 ・セッションキーボーディストとして、多数のライブやレコーディングに参加。 ・PCゲーム「イース3」「Bloody Chronicle」等のサウンドトラック作曲				

授業概要

・Macを使用した Pro Tools における編集、操作技術を習得し、録音現場で実用できるようになる。

到達目標

・Mac PC、Pro Toolsの基本的な構造や使い方の理解
・波形編集やそれに伴うショートカットキーの暗記
・ショートカットキーを使用した波形編集技術の習得

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	MacintoshとPro Tools/トラック/ウィンドウ/ループ素材を組み合わせて楽曲を作る/カウンターとロケート
【前期】 5～8回目	タイム管理とコピー&ペースト/曲の長さを編集する/ディスクにバウンス/オーディオインポート/尺編集のトレーニング/4回目から6回目までの復習/ゴミ取り
【前期】 9～12回目	プレイリスト/OKテイクの作成/Auxとセンド/リターン/ここまでの総復習
【前期】 13～15回目	7回目から12回目までの復習/総復習 サマーセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【前期】 16～17回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 18～21回目	Pro Toolsのファイル構成とオーディオインターフェース/定位とEQ/コンプレッサー/リバーブ
【後期】 22～25回目	ディレイ/18回目から22回目までの復習/編集実習1曲目①②
【後期】 26～29回目	編集実習1曲目③/編集実習2曲目①②③ ウインターセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【後期】 30～32回目	18回目から29回目までの復習
【後期】 33～35回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	・前後期の実技試験にて聴音20点/DTM実技70点の配分で評価 ・出席率や授業の受講態度などの平常点を10%で評価。 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格）
学生へのメッセージ	音楽をやっていく上で、DTMの知識と技術は必ず役立つスキルです。 基本的な操作方法を身につけることで、音源制作や作曲など自身の音楽活動に反映できるようになります。
使用教科書	前後期の最初の授業にてテキストプリントの冊子を配布

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	イクイップメント実習Ⅰ		**授業形態 / 必選**	実習	選択(必)
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	**年間授業数**	35回（70単位時間）	**年間単位数**	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科/音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ 照明/照明&PA				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	実務経験：39年 舞台照明プラン・照明設備デザインプラン・舞台監督・技術監督・企画制作運営・マネージメントなど。 有限会社BACKSを経て、2015年合同会社ストレンジブルー設立　執行役員。				

授業概要

・専門用語や機材名を実物を交え覚えていく
・照明機器の取り付け方や操作方法を学んでいく

到達目標

・現場で必要な用語・機器の取り扱い方・安全に対する意識の向上し、機材のメンテナンス技術を習得する

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	舞台用語・舞台機構を学ぶ　/　用語・劇場設備の説明
【前期】 5～8回目	照明の職種・働く場所などの説明　/　安全に関しての知識の理解
【前期】 9～12回目	トラスのケーブルのはわし方など、照明の仕込みについて学ぶ
【前期】 13～15回目	調光卓のセッティング　/　スポットの仕込み サマーセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【前期】 16～17回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 18～21回目	舞台平面図・仕込み図の理解　/　電源ユニットの仕込みを学ぶ
【後期】 22～25回目	スポットの吊り込みとシュート作業を習得する
【後期】 26～29回目	照明仕込みと照明卓のセットアップからシュートまでの流れを学ぶ ウインターセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【後期】 30～32回目	照明機材のメンテナンス方法の習得
【後期】 33～35回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	学期末に実施する試験により「平常点 /基礎課題　/実技 /資料作成 」の到達度を評価する。 ·90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格）
学生へのメッセージ	1クラスずつ行いますので技術・知識を深めることができます。 舞台の仕事・照明の仕事が楽しく今より興味深く、夢を持って個々が魅力のある人物になるように照明知識を学んでもらいます。
使用教科書	必要に応じて図面を配布

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	デザインⅠ		**授業形態 / 必選**	実習	選択(必)
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	**年間授業数**	35回（70単位時間）	**年間単位数**	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科/音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ アーティストスタッフ / イベント制作				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	実務経験：34年 主に電器・通信関係を中心とした販売促進用ツール（ポスター、店頭展示パネル、POP、チラシ、パンフレット、リーフレット）、パッケージ・広告等、書籍のレイアウト、装丁、またCDジャケットやポスター、フライヤー、グッズ、広告等の音楽関係の制作物を数多く手掛ける。				

授業概要

・前期は、Adobe Illustrator （以下、イラストレーターと称する）の基本的な操作方法の修得を目標に進行する。
・後期は、イラストレーターに加えフォトレタッチアプリケーション：Adobe Photoshop（以下、フォトショップと称する）の操作方法も交えて、実際の制作物を例にした課題に沿って実習。

到達目標

・イラストレーター、フォトショップを活用し、指示通りの作業を正確かつ合理的に行う事ができる。
・イラストレーター、フォトショップを使用した単純な印刷用データの作成ができる。
・実例に則した課題を作成することにより、デザインによって『何かを伝えること』が効果的にできるようになる。

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	パソコンのシステムを学び、保存/サーバー保管の概念を学ぶ。 Tシャツやcdジャケット、フライヤー等の実物とその印刷用データを見てアプリケーションの概略を把握する。
【前期】 5～8回目	起動と作業エリア／起動方法とインターフェースを確認 アートワークの表示とプリント／表示方法、モード、プリントについて確認／環境設定について確認
【前期】 9～12回目	イラストレーター：Chapter1～5 を基に、基本操作からオブジェクトの編集を学ぶ
【前期】 13～15回目	オリジナルのキャラクターをイラストレーターで制作する／文字の編集機能を使ってレイアウト、デザイン方法を学ぶ サマーセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【前期】 16～17回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 18～21回目	ビットマップとベクター、RGBとCMYKの違いを理解して編集ができる。・ファイル形式の変更ができる。 イラストレーターの基本的操作ができ、指示通りの形式データ作成ができる。
【後期】 22～25回目	イラストレーターの基本的操作ができ、指示通りの形式データ作成ができる。正しく効果的に情報が伝達できるようデザインできる。 自分が伝えたい事や色・形を表現でき、伝えたかったことを「製作意図」というかたちで文章で表現できる。
【後期】 26～29回目	イラストレーターの基本的操作ができ、指示通りの形式データ作成ができる。 文字の編集ができる。初歩のDTP／印刷用原稿が指定どおり制作できる。 ウインターセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【後期】 30～32回目	CDジャケット制作を通して、イラストレーターの基本的操作ができ、指示通りの形式データ作成ができる。
【後期】 33～35回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	学期末に実施する試験により「平常点 /基礎課題 /実技 /資料作成 」の到達度を評価する。 ·90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格）
学生へのメッセージ	皆さんが町中で見るフライヤー、ポスター、などの広告物などは イラストレーターというソフトを扱い、デザインしています。 デザインだけにとどまらず幅広く使われているソフトなので自分だけのデザインを作れるようマスターしましょう。
使用教科書	Illustrator /Photoshopソフト / 授業内容のオリジナル説明プリント

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	クリエイティブ基礎Ⅰ		**授業形態 / 必選**	実習	選択(必)
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	**年間授業数**	70回（140単位時間）	**年間単位数**	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科/音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ アーティストスタッフ				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	実務経験21年 イギリス・リヴァプール総合芸術大学LIPAを卒業後、大阪レコードショップ/インディーズレーベルにてバイヤー及び 海外バンドとの契約交渉担当者として勤務。その後、インディーズレーベル"RIMEOUT RECORDINGS"を立ち上げ、 CDの制作販売やライブ/DJイベントの企画などを行っている。				

授業概要

・キャッチコピー、ディスクレビュー、プロフィール、リリースインフォメーションなどの文章・書類作成を通じて
人に「買う」「見る」「聞く」というアクションを起こさせるにはどの様な伝え方をすれば良いのかを学ぶ。

到達目標

・エンターテインメント業界のマネジメント業務で使用する書類をひとりで作れるようになる。
・あらゆるジャンルの音楽や様々なタイプのアーティストを売り込む為に必要な表現力、ボキャブラリーの向上。
・マネジメント業務や資料作成の際に必要な論理的思考を培う。

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	レコード会社とプロダクション、マスメディアの業務を知る
【前期】 9～16回目	情報収集能力を高める / スケジューリングとは何か
【前期】 17～24回目	アーティストや音源を売り込む為に必要な表現力、ボキャブラリーの向上
【前期】 25～30回目	アーティストや商品のセールスポイントを踏まえて、それを効果的に売る為のキャッチコピーの作り方を学ぶ プレゼンを授業内で実際に行い、プレゼン力の向上を図る サマーセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【前期】 31～34回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 35～42回目	音源の批評文「ディスクレビュー」の作成を通じて、より的確でイメージのしやすい文章を書く力を養う
【後期】 43～50回目	プロの業界人が実際に作成したアーティストを売り込む為の「プロフィール」を参考にしながら、効果的で、分かりやすく、印象に残りやすいプロフィールはどういったものかを、自分なりの結論を出す。
【後期】 51～58回目	レコード会社やマネジメントがアーティストの音源リリースの際に作成する「リリース・インフォメーション」を可能な限り多く閲覧し、その特質、構成、作る上でのポイントなどを理解して作成する ウインターセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【後期】 59～64回目	架空のコンピレーションCDの企画を立ち上げ、「リリース・インフォメーション」の作成する 購買客の購買意欲をそそる企画案を購買客目線で企画する事を意識し、購買客に効果的にその音源の長所・特徴を 文章で伝え、音源購入へと誘う方法を学ぶ
【後期】 65～70回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	学期末に実施する試験により「平常点 /基礎課題 /実技 /資料作成 」の到達度を評価する。 ·90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格）
学生へのメッセージ	エンターテインメント業界におけるマネジメント業務を学んでいきます 様々な文章・書類作成を通じて人に「買う」「見る」「聞く」というアクションを 起こさせるためにはどうすればよいのかを勉強していきましょう！
使用教科書	・参考用資料、テキストを授業にて配布。 / 映像、参考用資料を授業にて閲覧。

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	クリエイティブ応用Ⅰ		**授業形態 / 必選**	実習	選択(必)
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	**年間授業数**	70回（140単位時間）	**年間単位数**	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科/音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ アーティストスタッフ				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	実務経験21年 イギリス・リヴァプール総合芸術大学LIPAを卒業後、大阪レコードショップ/インディーズレーベルにてバイヤー及び海外バンドとの契約交渉担当者として勤務。その後、インディーズレーベル"RIMEOUT RECORDINGS"を立ち上げ、CDの制作販売やライブ/DJイベントの企画などを行っている。				

授業概要

音響・照明・ステージなど、他セクションの動きを理解し、イベント資料作成から、
集客に繋がるプロモーションスキルを身に付け、アーティストプロモーションの一環として必要なイベントの概要を学ぶ。

到達目標

・イベントに関わる各セクションの立ち位置・業務内容を理解する。
・イベント制作で必要な各資料の理解・作成ができるようになる。
・集客を意識したプロモーション方法を身に付ける。
・各チーム内でのコミュニケーションを図り、話し合いながら物事を組み立てる能力を身に付ける。

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	ライブ関連の仕事の基礎知識やイベントに関わるお金の動きを知る。ライブ企画を作る前に知るべき基礎知識を知る。
【前期】 9～16回目	架空イベント企画立案を行い、イベント立案の際に必要な事を知る。 企画書を客観的目線で見る力を養う。
【前期】 17～24回目	夏期に行う軽音部との合同イベントの企画立案を行い、イベントまでに行うべき業務の理解して準備を行う。
【前期】 25～30回目	ライブイベントの出演者と会場と協力しながら円滑なイベント運営の進行のやり方を学びつつ、いかにして観客が満足するイベントを作り上げていくべきなのかを理解する。イベント実施後に反省会を行い、今後にフィードバックする。 サマーセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【前期】 31～34回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 35～42回目	後期ライブイベント企画立案～最終企画案の作成とイベントに向けた準備を行う。
【後期】 43～50回目	後期ライブイベントの出演アーティスト候補との交渉やイベントに向けた最終準備を行う。
【後期】 51～58回目	後期ライブイベントの出演アーティスト候補の出演交渉作業、および告知方法選定会議などのイベント準備を行う。 ウインターセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【後期】 59～64回目	ライブイベントに向けた最終調整と準備を行い、企画イベントを実施する。実施後に反省会を行い、今後にフィードバックする。
【後期】 65～70回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	学期末に実施する試験により「平常点 /基礎課題 /実技 /資料作成 」の到達度を評価する。 ·90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格）
学生へのメッセージ	アーティストをマネジメント、プロモーションしていくうえでLIVEイベントは必須です。 イベントを行う上で必要な知識を学び、実際にイベントを制作していきます マネジメントを行う上でイベントへの理解は必須です。共に頑張りましょう。
使用教科書	・参考用資料、テキストを授業にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント大阪（学校法人イーエスピー学園）：授業計画

授業科目名	PC実習Ⅰ		**授業形態 / 必選**	実習	選択(必)
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	**年間授業数**	35回（70単位時間）	**年間単位数**	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科/音楽芸能スタッフ科Ⅱ部/音楽アーティスト科■ アーティストスタッフ/PA/照明/照明＆PA/イベント制作/ローディー/レコーディング＆MA/PA＆レコーディング/ダンスパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	大学にて研究員として学生に対するICT、CADの指導をはじめ、その後特許事務所のパテントエンジニアを経て現在のICT、CAD教育業務に携わる。その他、企業、教育施設において情報セキュリティの指導にも携わる。 実務経験15年。				

授業概要

・ビジネス文書や、その他各資料作成を行う為のPC技術・知識を身につける。

到達目標

・PC操作に不慣れが学生に対して、利便性に長ける事を伝え、苦手意識を無くしていく。
・PC系検定「Word / Excel 」検定合格レベルの基礎知識と実践力を養う。
・Word/Excel/PPTソフトの使用方法を理解し、社会人として必要なPC技術を身につける。
・Word/Excel/PPTソフトを使用し、ビジネス文書等の作成ができる技術を身につける。

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	Word #1~#4 文字入力/ビジネス文書作成
【前期】 5～8回目	Word #5~#7 表作成・編集/グラフィック作成
【前期】 9～12回目	Excel #1~#4 基本操作/データ入力/表計算機能
【前期】 13～15回目	Excel #5~#6 絶対参照・書式設定/練習問題・ページ設定 サマーセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【前期】 16～17回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 18～21回目	Excel #7~#9 グラフ/関数/練習問題
【後期】 22～25回目	Excel #10~#12 関数/データベース（並び替え・抽出・自動集計・テーブル機能等）
【後期】 26～29回目	Excel #13 データベース（作業グループ・3D集計・スパークライン等） PPT #1 画面構成 ウインターセミナー受講(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
【後期】 30～32回目	PPT #2~#4 スライド編集/オブジェクトの挿入/アニメーション効果と切り替え/スライドショーの実行 / 練習問題
【後期】 33～35回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 年度末特別セミナー(セミナーを受講し、これまで学んできた知識を深め、応用技術の理解・習得を行う)
評価方法	学期末に実施する試験により「平常点 /基礎課題 /実技 /資料作成 」の到達度を評価する。 ·90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」（S～C=合格、D～F=不合格）
学生へのメッセージ	word・excel・PPTなどの、ソフト使用方法を学び、効率の良いビジネス文書や書類の作成を学びます PCの基礎知識から学んでいきますのでPCに触れたことがないという方、安心してください。しっかり基礎からサポートします。 一緒に楽しく勉強していきましょう
使用教科書	Word・Excel・PowerPointのパソコンソフト / 授業内容のオリジナル説明プリントを各授業ごとに配布